

項 目		主 な 意 見	主な意見の要約
安全・安心		・自主防災を突き詰めると最初に安否確認という言葉が出るので、それを簡単に誰でもスマホでできないか。	➤ スマホを使った安否確認
		・防災の関係でアプリを用いて安否確認との話があったが、例えば5階建ての住宅のベランダに印をつけるなどの方法により可視化することが一番ノーマルで早い。	➤ 目印を使った安否確認
		・緑道でつないでいくという発想、そこは強みとしてどの世代も捉えていることなので、何かそこを使った多世代での交流や防災の対策などを検討いただけたら。	➤ 緑道でつないだ多世代交流や防災対策
子育て・教育、健康長寿		・遊びの欄に経済的なゆとりの欄があるが、中学生とかお金がない子どもたちが遊ぶ場として公園が整備されていることは、すごく重要。	➤ 子どもの遊び場としての公園の整備
ブランド戦略		・ウェルビーイング像を南区の住民にどう新しく見せるか、このブランド戦略は何が新しく今までとどう違うのかを突き詰める必要がある。	➤ 新しいブランド戦略の周知
		・緑と自然が右上のポジションにあるが、50代以上の人はこの魅力を理解しているが、若い人たちに緑をもう一度再認識してもらったり、生活の中で緑と関わりを仕掛けることを考える必要がある。	➤ 若い世代への緑と自然の魅力発信
		・南区のスマートシティやその他にも含めたブランド価値は何かということについて、もう一度アンケートを取るか、今まで答えていただいた人に対して、深掘りする必要がある。	➤ スマートシティやブランド価値の深堀
		・独り親であっても幸せを感じられるブランドに変えていけたらよい。そういう意味で、この「緑豊か」という特徴はすごく強みである。	➤ 独り親でも強みを感じるブランド「緑豊か」
		・緑道でつないでいくという発想、そこは強みとしてどの世代も捉えていることなので、何かそこを使った多世代での交流や防災の対策などを検討いただけたら。	➤ 緑道でつないだ多世代交流や防災対策
		・外から学びに来られる学生も多いので、ただ学びに来るだけじゃなく、南区について知ってもらうための環境づくりが、若年層を取り込んで定着してもらう点で重要。	➤ 南区を知ってもらうための環境づくり
		・主要駅を絶対に経由するので、駅周辺で何かできることがあれば、南区に関わる足がかりになる。	➤ 主要駅での啓発
スマートシティ		・交通手段の値段が高いことも課題。	➤ 交通環境の整備
		・南区のスマートシティやその他にも含めたブランド価値は何かということについて、もう一度アンケートを取るか、今まで答えていただいた人に対して、深掘りする必要がある。	➤ スマートシティやブランド価値の深堀
		・40代以下の方を含め、50代以上の方に訴求がすぐにできるアプリとかサービスとかをリーチしていくことを考えれば、スマートシティも含め、リテラシーとか環境にうまく解析が広がる。	➤ スマートシティの活用
その他	世代に関すること	・どの校区もスーパーが閉鎖してきている。若い人は車で不自由なくあちこちへ行けても、高齢者は自由に行けなくなってくる。	➤ 世代による交通手段の違い
		・同じ情報源を持っていないことで分断が生まれことがあるが、何らかの形で世代をつないでいこうな、それこそ共通善を行政として掲げることが必要。	➤ 世代をつないでいく
		・南区が子育てや高齢者向けのことについてうたっているのは結構お見かけするが、中高生や大学生向けはあまりないと生活していて感じることが多い。	➤ 中高生・大学生対象の施策
		・大人になっても住み続けたいと思えるかは、中高生のときの経験が大事。	➤ （定住のための）中高生時代の体験
		・緑道でつないでいくという発想、そこは強みとしてどの世代も捉えていることなので、何かそこを使った多世代での交流や防災の対策などを検討いただけたら。	➤ 緑道でつないだ多世代交流や防災対策
	多様性に関すること	・ウェルビーイングは、多数決で決めるものではなく、誰もが幸せな地域を目指すことが元々の考え方。多数決的な書き方の整理もあるが、そうではない部分も現在の案にプラスできれば。	➤ 誰もが幸せな地域
		・独り親であっても幸せを感じられるブランドに変えていけたらよい。そういう意味で、この「緑豊か」という特徴はすごく強みである。	➤ 独り親でも強みを感じるブランド「緑豊か」
		・この絵姿の中から漏れやすいような方々が、緑豊かな自然やスマートシティなど、得意なところで力を発揮できる政策が、この中に具体的に入ると良い。	➤ 様々な立場の方が、緑豊かな自然やスマートシティなど、得意なところで力を発揮できる政策
		・全体として、子育てや長寿などから漏れている方々の活躍の場ができ、多様性のある政策になる。	
	地域に関すること	・不登校で学校に行けなくて、進路や結婚とかも考えられない方々やその家族たちにとって、何かいいウェルビーイングの姿。	➤ 不登校の方にとってのウェルビーイング
		・ウェルビーイング像について、アンケート結果から落とし込むと家族とのつながりはあるが、地域とのつながりという言葉がなくなっている。	➤ 地域とのつながり
		・ウェルビーイングは、多数決で決めるものではなく、誰もが幸せな地域を目指すことが元々の考え方。多数決的な書き方の整理もあるが、そうではない部分も現在の案にプラスできれば。	➤ 誰もが幸せな地域
		・医療機関と買物の満足度が非常に高くなっているが、校区によっては医療機関がないところや買物をするスーパーがないところもあり、校区ごとに事情が違う。その辺の分析はどうなるのか。	➤ 医療機関や買い物に関する地域性（校区ごとの事情）
		・文化・芸術が低い。これを活用できると、コミュニティでも活用できる。	➤ 文化・芸術の活用によるコミュニティの活性化
	その他	・大人も祭りのときになると人が変わる。私が初めて来たときにすごく感じたのは、まちが子どもを育てること。何かそういったアイデアが見つかるといいのではないか。	
		・介護施設の充実で、入居者の方が活動に取り組める環境であったり、地域と交流を持てる場をつくっていく必要がある。	➤ 地域との交流
		・科学的根拠に基づいたプロジェクトが必要。	➤ 科学的根拠に基づいたプロジェクト